

平成29年度事業報告書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

本会が介護を必要とする高齢者や障害を抱える方が、住み慣れた地域で在宅生活を維持できるよう介護保険事業等の在宅サービスを提供することを地域福祉推進の中心とし、同時に安定した経営基盤確立のための財源確保に向けた活動を続け18年が経過いたしました。

本年度におきましても、介護保険制度改定の大きな流れや利用者の在宅から施設への住み替え、他事業所への利用者の分散等厳しい経営環境におかれ続け、経営は大きな赤字決算となりました。

一方で、江差町でも人口の流出や少子高齢化が急速に進行し、高齢の独居・夫婦世帯や認知症高齢者の増加、世帯規模の縮小、地域の相互扶助機能の低下と同時に公共交通機関の縮小や小売商店等の減少なども顕著になり、社会情勢や環境が変わることで、地域が求める福祉ニーズも変わり続け、本会では江差町の「第4期江差町地域福祉計画」と連動する「第5期江差町地域福祉実践計画」を定め、本年度より活動を進め、一歩ずつですが介護保険事業等とは別の地域福祉活動を進めました。

1. 会務報告

(1) 評議員会

第84回評議員会（平成28年度事業報告・収支決算報告、役員選任）

平成29年 6月24日 江差町老人福祉センター

第85回評議員会（平成29年度補正予算、平成30年度事業計画・予算）

平成30年 3月24日 江差町老人福祉センター

(2) 理事会

第1回 平成29年 6月 9日 江差町老人福祉センター

第2回 平成29年 6月24日 江差町老人福祉センター

第3回 平成30年 2月27日 江差町老人福祉センター

第4回 平成30年 3月22日 江差町老人福祉センター

(4) 監事会

第1回 平成29年 5月31日 江差町老人福祉センター

第2回 平成29年 9月26日 江差町老人福祉センター

第3回 平成29年12月14日 江差町老人福祉センター

第4回 平成30年 3月28日 江差町老人福祉センター

(5) 地域福祉実践計画策定委員会

開催なし

2. 介護保険・障がい者自立支援事業所の活動

介護保険制度事業所を3事業3事業所「居宅介護支援事業（えさし社協居宅介護支援事業所）・訪問介護事業（えさし社協ヘルパーステーション）・通所介護事業（えさし社協デイサービス「まるやま」）」、障害者自立支援事業所を1事業1事業所（訪問介護事業所併設）とし、介護認定者、障がい者への在宅サービスを提供いたしました。

サービスを提供するにあたっては、地域福祉を推進する立場を堅守し、いたずらに営利を追及するのではなく、地域に根ざした社協としてこれまで培ってきた経験を生かし、利用者の「在宅で自立した生活を続けたい」との気持ちを大切に、事業所間の連携を密にしたサービスの提供に努めてまいりました。

介護保険制度の改定により要介護からサービスが定額制の要支援・総合事業へと介護度が変わる利用者が多く、重ねて報酬改定によるサービス提供単価の引き下げなど極めて厳しい経営環境に置かれ続けています。

また、非常勤（パート）介護職員の確保についても難しく、募集（ハローワーク、新聞折り込みチラシ）を出しても全く問合せがなかったり、問合せだけで就業に結びつかなかったりする状況が続いています。

(1) 居宅介護支援事業所 えさし社協居宅介護支援事業所

ケアマネジャー 3名

車輛 3台 (普通車 2台・軽自動車 1台)

利用者の福祉ニーズの把握、地域、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携を図りながら、個別の生活支援サービス体制を図るため、ご本人の意思を尊重した介護計画（ケアプラン）を作成しながら、ご本人やそのご家族に対し情報の提供や相談にも迅速に対応し、また、要支援認定者・総合事業の予防介護計画作成に積極的に取り組んでまいりました。

要介護度別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成27年度末		平成28年度末		平成29年度末	
要支援・総合事業	26	26.0%	39	38.6%	43	37.4%
要介護1	32	32.0%	19	18.8%	22	19.1%
要介護2	19	19.0%	20	19.8%	26	22.6%
要介護3	14	14.0%	15	14.8%	16	13.9%
要介護4	6	6.0%	5	5.0%	4	3.5%
要介護5	3	3.0%	3	3.0%	4	3.5%
合 計	100	100.0%	101	100.0%	115	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成28年度		平成29年度		平成29年度ー平成28年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援・総合事業	406	33.8	493	41.1	87	7.3
要介護1	297	24.7	224	18.7	△73	△6.0
要介護2	204	17.0	278	23.2	74	6.2
要介護3	201	16.8	184	15.3	△17	△1.5
要介護4	60	5.0	46	3.8	△14	△1.2
要介護5	55	4.6	42	3.5	△13	△1.1
合 計	1,223	101.9	1,267	105.6	44	3.7

(2) 訪問介護事業所・障害者居宅介護事業所

えさし社協ヘルパーステーション ヘルパー 5名

車輛 5台 (軽自動車 3台・普通車 2台)

訪問介護事業所では、2つの制度事業を担い、長年培ってきたノウハウを活かしながら営利を追求するだけの過剰なサービスの提供を控え、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携しながら、在宅で自立した生活を送るためのサービスの充実を図りながら提供に努めてまいりました。

介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別利用者数の推移 (単位：人)

要介護度別	平成27年度末		平成28年度末		平成29年度末	
要支援・総合事業	13	31.7%	16	41.0%	16	42.1%
要介護1	12	29.3%	7	18.0%	6	15.8%
要介護2	6	14.6%	7	18.0%	6	15.8%
要介護3	5	12.2%	8	20.5%	7	18.4%
要介護4	3	7.3%	0	0.0%	1	2.6%
要介護5	2	4.9%	1	2.5%	2	5.3%
合 計	41	100.0%	39	100.0%	38	100.0%
障害者居宅介護	3	-	4	-	7	-
自立認定者訪問介護	1	-	1	-	1	-
総 計	44	-	45	-	46	-

介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別サービス提供回数の推移

(単位:回)

要介護度別	平成28年度		平成29年度		平成29年度ー平成28年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援・総合事業	1,235	102.9	※ 181	※ 15.1	※ —	※ —
要介護1	632	52.7	625	52.1	△7	△0.6
要介護2	810	67.5	1,298	108.2	488	40.7
要介護3	1,187	98.9	1,072	89.3	△115	△9.6
要介護4	46	3.8	69	5.7	23	1.9
要介護5	136	11.3	62	5.2	△74	△6.1
合 計	4,046	337.1	3,307	275.6	—	—
障がい者居宅介護	834	69.5	1,086	181.0	252	111.5
自立認定者訪問介護	50	4.2	49	4.1	△1	△0.1
総 計	4,929	410.8	4,442	370.2	—	—

※統計回数算定方法の変更により比較できない項目がある。

介護保険事業サービス種類別提供回数の推移

(単位:回)

サービス種類別	平成28年度		平成29年度		平成29年度ー平成28年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身体介護	1,473	122.8	1,601	133.4	128	10.6
生活援助	1,131	94.3	1,135	94.6	4	0.3
身体・生活	310	25.8	38	3.2	△272	△22.6
通院等乗降介助	358	29.8	352	29.3	△6	△0.5
要支援・総合事業	1,235	102.9	※181	15.1	※ —	※ —
合 計	4,507	375.6	3,307	275.6	※ —	※ —

障がい者自立支援サービス種類別提供回数の推移

(単位:回)

要介護度別	平成28年度		平成29年度		平成29年度ー平成28年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身体介護	171	14.3	109	9.1	△62	△5.2
通院介助(身体介護伴う)	82	6.8	29	2.4	△53	△53.0
通院介助(身体介護伴わない)	355	29.6	774	64.5	419	34.9
家事援助	226	18.8	174	14.5	△52	△4.3
合 計	834	69.5	1,086	90.5	252	21.0

(3) 通所介護事業所 えさし社協デイサービス「まるやま」 在宅型総合福祉施設「まるやま」内開設

利用定員 35名 小型バス1台(リフト付) ワゴン車3台(リフト付)

デイサービス利用者のみならず、同居介護者の負担軽減も考え合わせながら過剰なサービスを避け、利用者の自立する意欲を奪うことのないよう配慮しながらサービスの提供に努めてまいりました。

本事業では、体調などにより突発的に休まれる利用者、介護者の負担軽減のための短期施設入所(ショートステイ)の利用、施設入所も多く、安定した利用者確保が大きな課題となると同時に、本年度は大きな影響を受けませんでしたが、インフルエンザやノロ・ロタ等の感染性胃腸炎によりサービス利用が大きく減少することがあることから、感染力の強い疾病への対応強化を求められ続けています。

また、利用者数の減に伴い、施設や設備の利用方法見直しによる更なる経費の削減や事業展開についての検討が必要となっております。

要介護度別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成27年度末		平成28年度末		平成29年度末	
要支援・総合事業	26	29.9%	25	30.1%	23	28.1%
要介護1	31	35.6%	17	20.5%	22	26.8%
要介護2	18	20.7%	21	25.3%	22	26.8%
要介護3	9	10.3%	15	18.1%	10	12.2%
要介護4	2	2.3%	3	3.6%	2	2.4%
要介護5	1	1.2%	2	2.4%	3	3.7%
合 計	87	100.0%	83	100.0%	82	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成28年度		平成29年度		平成29年度－平成28年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援・総合事業	1,412	117.7	※ 326	※ 27.2	※ —	※ —
要介護1	2,512	209.3	1,377	114.8	△1,135	△94.5
要介護2	1,770	147.5	2,015	167.9	245	20.4
要介護3	1,105	92.1	1,371	114.3	266	22.1
要介護4	297	24.7	200	16.6	△97	△8.1
要介護5	342	28.5	254	21.1	△88	△7.4
合 計	7,438	619.8	5,543	461.9	※ —	※ —

※統計回数算定方法の変更により比較できない項目がある。

3. 福祉移送サービス（通院等外出支援）

介護認定者や障がいを抱える方の通院。身体の状態により自宅のお風呂を利用できない方のための施設（在宅型総合福祉施設「まるやま」・老人福祉センター）特殊浴槽を利用しての入浴のための送迎等について、車椅子をご利用の方や認知症、障がい等により行動が困難な方々を中心にサービスに務めました。

平成29年度移送実績（福祉有償運送）

(単位：回)

移 送 内 容	平成28年度	平成29年度	平成29年度－平成28年度
病院受診のための移送	649	772	123
施設を利用しての入浴のための移送	383	263	△120
入退院のための移送	—	—	—
転院のための移送	—	—	—
その他（買い物等のための移送）	5	2	△3
合 計	1,037	1,037	0

4. 福祉・ボランティア団体等への活動支援

町内で様々な活動が続ける福祉・ボランティア団体の活性化を図ることを目的に、指定団体への運営費について助成し支援いたしました。

計 画 6団体 江差町遺族会、江差町身体障がい者福祉協会、江差地区保護司会江差支部、江差町子どもと父母の会連合会、江差手話の会、育児サポートサークル「キティ」

助成額 1団体2万円以内 総額12万円以内

実 績 上記6団体

助成額 1団体2万円 総額12万円

助 成 団 体 名	活 動 の 目 的
江差町身体障がい者福祉協会	身体障がい者の福祉向上を目指す当事者団体活動
江差町遺族会	戦没遺族の会
江差町子どもと父母の会連合会	町内の子ども会活動の連携と親睦、連絡調整

育児サポートサークル「キティ」	子育て中の親子の支援と孤立防止
江差地区保護司会江差支部	犯罪者更正の援助
江差手話の会	手話の普及

財 源 愛情銀行：4万円、共同募金配分金：8万円

5. 学校教育ボランティア活動等への支援

学校教育の場で行われるボランティア活動や地域とのふれあい活動に対し助成を行うことで支援しました。本年度の助成は3校となっております。

計 画 対象学校数 小学校3校、中学校2校、高校1校、高等看護学院1校 計7校
 助 成 額 1校2万円以内、総額8万円以内（4校以内）
 実 績 助 成 額 江差高等看護学院20,000円・江差高等学校20,000円
 江差中学校19,224円

助 成 学 校 名	活 動 の 目 的
江差高等看護学院	ボランティアクラブ活動費への補填
	・福祉施設慰問 ・道立江差病院ロビーでのハンドベル演奏等
江差高等学校	地域とのふれあい活動
	・かもめ島まつり「千人パレード」等の行事参加用 浴衣作成 ・本年度は、野球部の全校応援と重なり参加できなかったため、高校体育祭、鷗陵祭で使用（継続的な利用と行事等への参加）
江差中学校	ボランティア・福祉活動に供するための書籍・物品 購入費用への補填
	・横断幕購入（江差中学校区青少年健全育成推進会の朝の挨拶運動に使用）

財 源 愛情銀行：19,224円、共同募金配分金：4万円

6. ふれあいいきいきサロン推進事業

独自財源により活動を継続する「かあちゃん食堂たまりば」（愛宕町）について、江差町内でのふれあいいきいきサロンのモデルとして運営費支援を図りました。

計 画 助 成 額 5万円
 実 績 助 成 額 5万円
 財 源 愛 情 銀 行 5万円

7. 福祉サービス利用者の権利擁護

(1) 苦情解決窓口の設置について

本会の行う在宅福祉サービス事業（介護保険・障がい者自立支援事業など）に係る利用者の苦情に適切に対応し、利用者の権利を守り、満足度を高めるため、第三者委員2名、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者2名を選任し苦情に速やかに対応する体制を整えております。

平成29年度はサービス利用者やその家族から事業所に対する苦情申立てはありませんでした。

(2) 地域権利擁護事業・成年後見制度の周知について

① 日常生活自立支援事業 北海道社会福祉協議会委託事業

本年度より、北海道社会福祉協議会より委託を受け本会で実施いたしました。

利用者数は横ばいとなっていますが、事業が地域に周知されつつあると考えられることから生活支援員の増員が望まれ、社協として適任者の確保を求められております。

平成29年度利用者数 14名

平成29年度末「生活支援員」登録者14名（うち実稼働12名）

利用者の内訳 認知症高齢者 10名、知的障がい者 1名、精神障がい者 3名

② 成年後見制度の推進について

江差町より平成29年度権利擁護人材支援体制構築事業（期間：平成29年10月1日～平成30年3月）を受託し、当地における後見実施機関（成年後見制度の周知、広報、啓発や後見制度に関する相談、利用手続き支援、市民後見人の育成、後見活動支援等を行う）の必要性について、検討会、先進地視察、成年後見制度研修会、ニーズ調査を通して検討し、当町での必要性をまとめ江差町に報告いたしました。

成年後見制度につきましては、日常生活自立支援事業との併用や移行も今後の課題としてあり、また、制度そのものの周知、啓発が必要なことや市民後見人養成講習終了者が市民後見人として活動するために必要となる後見実施機関の必要性も高いことなどから、今後も積極的に係って参ります。

8. 福祉情報の提供と相談

（1）情報の提供

広報誌「福祉だより」をはじめ、福祉関係事業の案内、学校に対しての情報提供等に努めてまいりました。

① 福祉だより 年3回発行

江差町広報紙折り込み

② 学校への情報提供 赤い羽根共同募金活動チラシ・ポスター

（2）心配ごと相談

日常的に介護保険事業などの制度事業に関することや生活応急資金などの制度資金に関する相談があり職員が対応してまいりました。

相談件数 介護保険事業等に関すること（日常的にあるため件数は把握していない）

経済的な相談に関すること 6件（内、生活応急資金5件、生活福祉資金1件）

9. 江差町愛情銀行（在宅福祉基金）・共同募金活動の推進

町民皆様より愛情銀行や共同募金活動について金品の協力を頂きました。

また、この一部を財源として生活応急資金、助成金、機器の購入等に活用いたしました。

（1）江差町愛情銀行

本年度預託金 110,325円・・・・・・①

内、指定預託 0円（0件）

内、一般預託 110,325円（6件）

本年度払出金 221,302円・・・・・・②

内、社協助成事業 50,000円（1件）ふれあいいきいきサロン推進事業等

内、社協助成事業 19,224円（1件）学校教育ボランティア活動支援事業

内、弔意ローソク購入 22,086円（1件）100個、仏のし紙等

内、歳末たすけあい托鉢関係 20,854円（1件）広報用チラシ、バス借り上げ

内、エコキャップ関係 48,944円（1件）配送運賃（段ボール66箱）

内、使用済切手関係 1,170円（1件）送料

内、ボランティア活動研修会 20,144円（1件）講師謝礼、振込手数料

内、介助用車イス購入 27,000円（1件）無料貸し出し用3台

内、その他 11,880円（1件）愛情銀行領収書

預金利息 12円・・・・・・③

前年度繰越金 1,350,472円・・・・・・④

生活応急資金貸付 86,000円・・・・・・⑤ 3件

生活応急資金償還 76,000円・・・・・・⑥

翌年度繰越金 1,229,507円（④+①+③-②-⑤+⑥）

預託物品 本年度預託 使用済み切手、リングプル、エコキャップ、リサイクル用衣料等93件
 (1物品に付き1件の換算)
 本年度払出 同上93件

(2) 江差町愛情銀行(在宅福祉基金) 曹洞宗第4教区青年会 歳末托鉢による預託

実施日 平成29年12月7日
 本年度預託金 311,521円・・・①
 本年度払出金 0円・・・②
 預金利息 9円・・・③
 前年度繰越金 1,039,680円・・・④
 翌年度繰越金 1,351,210円(④+①+③-②)

(3) 共同募金活動

運動期間 平成29年10月1日～平成29年12月31日
 街頭募金 1回・・・9月24日(日) 第39回江差町産業祭り(開陽丸青少年センター)
 広報 福祉だより、ポスター掲示
 募金総額 917,020円(平成27年度実績:1,003,653円)
 前年度比 △86,633円 : 91.4%

募金活動方法別内訳

戸別募金訪問	金額
町内会	468,300円(869世帯)
法人募金	83件 87,700円
街頭募金	1件 14,490円
学校募金	7校 57,515円
職域募金	25件 40,401円
募金箱設置協力店・団体	64件 72,714円

10. 生活応急資金・生活福祉資金等の貸付

(1) 生活応急資金

本会独自の貸付制度として、江差町に居住し、独立の生計を営み、他から資金融資を受けることが困難で、緊急な出費により生活困窮に陥る恐れのある生活保護世帯や生活保護申請世帯に対し、費用受給までの生活を維持するための資金として貸付を行いました。

平成29年度貸付 件数 3件 貸付総額 86,000円
 財源 本会「愛情銀行」

(2) 生活福祉資金(北海道社会福祉協議会事業)

厚生労働省の要綱に基づき他の貸付制度が利用できない低所得者や障がい者・高齢者世帯の経済的と自立と生活の安定を目指すための貸付制度として、本会では道社協より事務委託を受けその窓口として相談や申込について協力しております。

本年度は相談が1件ありましたが取り扱いはありませんでした。

(3) 特別生活資金(冬期生活資金:北海道社会福祉協議会事業)

福祉年金等を受給する高齢者や障がい者などの福祉向上を図るため、冬期の燃料費を確保する資金を必要とする世帯に対しての道社協の貸付制度の窓口として相談や申込について協力してまいりましたが、本年度の相談、取り扱いはありませんでした。

11. 各種団体の活動

江差町町内会連合会、江差町老人クラブ連合会、江差町高齢者事業団、江差町共同募金会の4団体について、専任職員1名を中心に事務・活動支援を図りました。

1 2. 社協の基盤整備

(1) 賛助会員・賛助会費

地域福祉推進の財源として各助成事業や情報提供に活用している賛助会費について、協力員体制がままならないことから地域内でも訪問出来ないところが増え、不公平感や不信感などがあることから戸別に訪問しての集金は行わないこととし、広報紙による広報活動を行いました。地域からの理解を得られたとは言い難いものとなっています。

賛助会員・賛助会費の推移

年 度	賛 助 会 員		賛 助 会 費	
	会 員 数	前年度比	会 費 額	前 年 度 比
平成29年度	11件	△8件	76,000円	16,200円
平成28年度	19件	1件	92,200円	53,200円
平成27年度	18件	12件	39,000円	24,000円
平成26年度	6件	—	15,000円	—
平成11年度	1,287件	—	1,615,500円	—

(2) 設備整備

介護保険事業所の収入をもって、事業活動が滞ることのないよう、設備整備・車両修繕等に努めました。

1 3. 第5期江差町地域福祉実践計画の活動

本年度は、第4期江差町地域福祉計画（江差町）と連動した第5期地域福祉実践計画の「江差町地域福祉実践計画の平成29年度の主たる活動」（資料別紙：江差町地域福祉実践計画における平成29年度活動状況）に基づき活動を推進しました。

この計画の推進により本会の活動は大きく幅を広げつつありますが、同時に、福祉活動は幅が広く、専門的な知識が求められることも多いことから、活動を持続するための体制づくりが急務となります。

計画の期間 平成29年4月～平成33年3月（5年間）

1 4. 役職員研修並びに会議等への参加

本会活動の推進ため役職員の研修を進めてまいりました。また、ここに記載する以外にも各種関係会議・研修会等への出席に努めました。

① 江差町町内会連合会平成29年度総会	役職員	3名	江差町	平成29年	4月
② 江差町老人クラブ連合会平成29年度総会	役職員	3名	江差町	平成29年	4月
③ グループホームなごみ運営協議会	職員	1名	江差町	平成29年	4月
④ 江差町交通安全運動推進協議会	役員	1名	江差町	平成29年	5月
⑤ 江差中学校区青少年健全育成推進会平成29年度総会	職員	1名	江差町	平成29年	5月
⑥ 平成28年度道社協地域部会幹事会	役員	1名	札幌市	平成29年	5月
⑦ 江差町民生委員児童委員協議会平成29年度総会	職員	2名	江差町	平成29年	5月
⑧ 平成29年度全道市町村社協会長・事務局長研究協議会及び全道市町村会長会総会	役員	1名	札幌市	平成29年	6月
⑨ 江差町国民健康保険運営協議会	職員	1名	江差町	平成29年	6月
⑩ 江差町包括支援センター運営協議会	職員	1名	江差町	平成29年	6月
⑪ 第44回老人スポーツ・シルバーパワー大演芸会	役職員	6名	江差町	平成29年	6月
⑫ 平成29年度檜山管内社協会長・事務局長会議	役職員	2名	江差町	平成29年	6月
⑬ 平成29年度檜山管内社協連絡協議会	役職員	2名	江差町	平成29年	6月
⑭ 平成29年度檜山地方共同募金委員会理事会	役職員	2名	江差町	平成29年	6月
⑮ 檜山ボランティア連絡協議会平成29年度総会	職員	1名	江差町	平成29年	6月
⑯ 平成29年度安全運転管理者等法定講習	職員	1名	厚沢部町	平成29年	6月
⑰ グループホームなごみ運営協議会	職員	1名	江差町	平成29年	6月

⑱	江差地域訪問看護ステーション運営推進会議	職員	1名	江差町	平成29年	7月
⑲	移送サービス運転協力者講習会	職員	1名	江差町	平成29年	7月
⑳	江差町民生委員児童委員協議会定例会	職員	2名	江差町	平成29年	7月
㉑	認知症サポーター養成講座（南が丘小学校）	職員	1名	江差町	平成29年	7月
㉒	第67回北海道社会福祉大会	役員	1名	苫小牧市	平成29年	7月
㉓	平成29年度北海道ホームヘルプサービス協議会 渡島・檜山地区連絡会議及び資質向上研修	職員	2名	北斗市	平成29年	9月
㉔	平成29年度北海道初任介護支援専門員に係るア ドバイザー（主任介護支援専門員）事前研修	職員	1名	札幌市	平成29年	9月
㉕	平成29年度江差町共同募金委員会理事会	職員	2名	江差町	平成29年	9月
㉖	平成29年度自立生活支援専門員・生活支援員研修会	職員	1名	江差町	平成29年	9月
㉗	共同募金街頭啓発（江差町産業祭り）	役職員複数名		江差町	平成29年	9月
㉘	江差町民生委員児童委員協議会定例会	職員	2名	江差町	平成29年	9月
㉙	避難所運営ゲーム（Doはく）講師養成研修会	職員	1名	江差町	平成29年	9月
㉚	江差町後見実施機関検討委員会（第1回）	職員	2名	江差町	平成29年	10月
㉛	平成29年度檜山地区地域に理解され支持される社 協づくり研修会	役職員	2名	江差町	平成29年	10月
㉜	平成29年度北海道介護支援専門員更新研修	職員	1名	函館市	平成29年	10月
㉝	平成29年度ボランティア研修会	役職員	6名	江差町	平成29年	10月
㉞	後見実施機関設置に向けた検討委員会視察研修	職員	1名	帯広管内	平成29年	10月
㉟	グループホームなごみ運営協議会	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊱	第7期江差町高齢者福祉計画・第7期江差町介護保 険事業計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊲	市民後見人フォローアップ研修	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊳	平成29年度江差中学校区青少年健全育成推進会議	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊴	法テラス函館地方協議会（江差ブロック）	職員	2名	江差町	平成29年	11月
㊵	江差町民生委員児童委員協議会定例会	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊶	第26回江差町町内会連合会研修大会及び功労者表彰	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊷	曹洞宗第4教区青年会托鉢	職員	2名	江差町	平成29年	11月
㊸	年忘れ大演芸大会（我楽多クラブ）	職員	1名	江差町	平成29年	11月
㊹	江差町国民健康保険運営協議会	職員	1名	江差町	平成29年	12月
㊺	歳末特別警戒出動式及び街頭啓発	役職員	2名	江差町	平成29年	12月
㊻	江差町後見実施機関検討委員会（第2回）	職員	2名	江差町	平成29年	12月
㊼	平成29年度法人指導監査	職員	2名	江差町	平成30年	1月
㊽	成年後見制度研修会	職員	8名	江差町	平成30年	1月
㊾	江差町国民健康保険運営協議会	職員	1名	江差町	平成30年	1月
㊿	江差町民生委員児童委員協議会新年交流会	職員	2名	江差町	平成30年	1月
㊽	第7期江差町高齢者福祉計画・第7期江差町介護保 険事業計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成30年	2月
㊾	江差町国民健康保険運営協議会	職員	1名	江差町	平成30年	2月
㊿	平成29年度地域の絆と支え合い活動渡島・檜山地区 推進セミナー	職員	1名	江差町	平成30年	2月
㊽	平成29年度南檜山圏域障がい者地域生活支援関係者研修	職員	1名	江差町	平成30年	2月
㊾	江差町後見実施機関検討委員会（第3回）	職員	2名	江差町	平成30年	2月
㊿	江差町第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成30年	2月
㊽	地域支え合い協議体会議	職員	1名	江差町	平成30年	2月
㊾	平成29年度檜山管内ボランティア活動研修会	役職員複数名		江差町	平成30年	2月
㊿	渡島管内包括支援センター意見交換会	職員	1名	江差町	平成30年	3月
㊽	平成29年度檜山管内社協連絡協議会	役職員	2名	江差町	平成30年	3月

⑥1	平成29年度檜山管内社協会長・事務局長会議	役職員	2名	江差町	平成30年	3月
⑥2	グループホームなごみ運営協議会	職員	1名	江差町	平成30年	3月
⑥3	平成29年度江差町地域公共交通会議	職員	1名	江差町	平成30年	3月
⑥4	平成29年度江差町地域包括支援センター運営協議会	職員	1名	江差町	平成30年	3月
⑥5	江差町民生委員児童委員協議会定例会	職員	2名	江差町	平成30年	3月
⑥6	平成29年度江差町地域福祉計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成30年	3月

15. その他

(1) 福祉機器・テントの貸し出し

車イス（ベッドの貸し出しについては、感染症予防のための消毒が難しいことから貸し出しを中止しています）を一時的に必要な方に貸し出してまいりました。また、共同募金配分金を受けながら整備した行事用テントを江差町、商工会、団体等に貸し出しました。

(2) 弔意ローソクの配布

江差町民で亡くなられた方への弔意を表すため、江差町役場窓口に置き配布していただきました。

(3) 収集活動の推進

使用済切手やリングプル等の収集について周知を図り、関係団体の協力に努めました。

回収品目	協力先団体名	
使用済切手	社団法人日本キリスト教海外医療協力会	発展途上国への医療協力
リングプル	かあちゃん食堂たまりば	福祉団体等への車イス寄贈
リサイクル用衣料品等	NPO 法人南部檜山あゆみ共同作業所	ウエス加工
エコキャップ	NPO 法人エコキャップ推進協会	世界の子供へワクチン寄贈
ベルマーク	江差小学校・南が丘小学校	学校備品等整備
書き損じハガキ	空飛ぶ車イス活動	発展途上国へリサイクル車イスの寄贈

※ 使用済プリペイドカードについては、収集体が確認できなくなったため中止といたしました。